

市民公益活動を支援します！

# CNSuita

市民ネットすいた Civil Network Suita

# ニュース

## No.6

発行日 2013(平成25)年2月25日

発行所 NPO法人市民ネットすいた  
(吹田市立市民公益活動センター指定管理者)

## 吹田市在住・通勤通学者 47 万市民のために 市民公益活動を推進しましょう！

### 新時代への転換

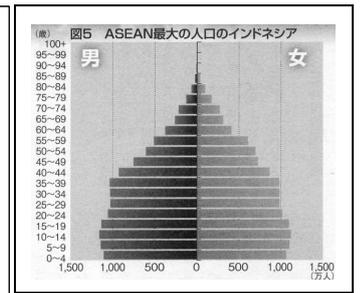
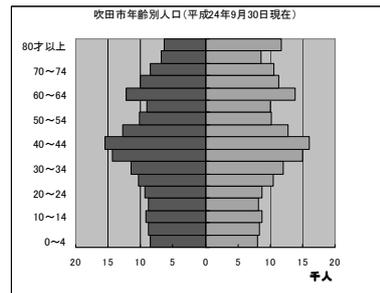
地震や津波など自然の猛威が、そして、アルジェリア問題など政治や紛争など人の一挙一動が、世界に大きな影響を与える。21 世紀はそんな時代です。

「課題先進国」日本は、ハード・ソフト両面で、多様性ある技術力を生かした量から質の時代へ、そして中央一極集中から地方分散の時代へ、官公庁から市民の時代への流れに、大きく転換しようとしています。

### 現在の市民公益活動 + $\alpha$

吹田市は市民公益活動が非常に盛んで、地域コミュニティをはじめ、すばらしい活動を 10 年、20 年と続けている市民公益活動団体が沢山あります。しかし、上左図、吹田市 35 万 7 千人の年代別人口分布は、若い人が少なく高齢者が多いひょうたん型の逆三角形で、10年、20年後には、逆三角形化が更に進みます。日本全体や欧州、中国、韓国等を含めた先進諸国も同様の状況になるでしょう。上右図は今後も経済成長が予想される、インドネシア人口 2 億 5 千万人の、比較年代別人口分布図です。

昨年 9 月にオープンした「市民公益活動センター」は、職員と法人役員のチームワークと、それぞれの専門性を生かした着実な努力によって、一步一步と支援活動の幅を広げつつあります。しかし、これからは上記のような状況を乗り越えるため、市民公益活動も企業行政学校等と広く交流しながら、産業、福祉・介護、社会教育、子育て、まちづくり、環境保全、防災防犯、人権、国際協力など、一層広い分野のニーズに対応できる体制を整えていかなければならないと思います。国や自治体



だけでは十分な支援ができず、市民公益活動団体や市民社会がその役割を果たしていかなければならないのです。

### 市民公益活動で環境を整える

市民が快適に生活できるまちは、特に独居所帯が増える高齢化社会においては、寝食だけでなく、働く場所や、買い物、諸サービス、コミュニティなどが、コンパクトに整ってはじめて成り立ちます。

同じ吹田市内でも、6ブロック(片山・岸部地域、豊津・江坂・南吹田地域、JR以南地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域、山田・千里丘地域、千里山・佐井寺地域)や市内14鉄道駅周辺を見ても、地域によって人口や産業分布、環境、利便性などがかなり違い、それぞれ課題がありそうです。

きめの細かい市民公益活動の推進が求められているのです。(佐藤和男) (上右図「週刊エコノミスト」誌より)

### 会員募集

NPO法人 市民ネットすいた

市民公益活動の促進を目指す方々を求めています。

年会費	○正会員	個人	3,000円
	○賛助会員	個人1口	1,000円
		団体1口	10,000円

入会申込は、FAX 06-6875-7461

又は E-mail mail@cnsuita.com まで

## 吹田の環境を守りましょう！

NPO 法人 すいた市民環境会議  
代表 小田 忠文



すいた市民環境会議(以下、当会)は 1997 年から活動しています。「よりよい吹田の環境を次世代に引き継ぐ」ために「行政・企業とパートナーシップを築き、諸団体とのネットワークをも築きつつ多くの市民と共に楽しく、活動する」ことを基本として、提言・提案のできる会を目指しています。例えば、1998 年から地域で活動している会と一緒にヒメボタルの調査をして、市に提案・要望し 2011 年にヒメボタルが吹田市の天然記念物に指定されました。

2000 年には吹田市の今を記録して、市の支援でそれらを見て歩くための観光マップ「あ・ルック吹田」を作りました。その結果、吹田ではまち歩きがさかんになり、観光協会までできました。スイタクワイの苗を吹田市から借用した休耕田に植えて子どもたちと一緒に寒い冬に収穫し、それを試食しました。その後、市の担当者が頑張って農家の協力を得て、今ではスイタクワイを使ったパンやお菓子などが販売されるようになりました。すいたんというゆるキャラも生まれました。このように今は多くの人が知っていること、吹田が元気になるようなことの仕掛け人が、実は当会だったのです。

このほか市内の大木の本数やツバメの巣の調査を 10 年間隔でおこなうことで吹田の自然が次世代に残されているかを検証しています。市内の大木の本数は 10 年で倍増していますがツバメの巣は 1/3 に減っていることがわかりました。

2006 年には、古江台中学校で PTA や地域の商店会と一緒に太陽光発電システムを設置したり、公民館講座ではエコクッキングやみどりのカーテン講座を担当しています。さらに博物館との連携もすでに 5 年以上の歴史があり、博物館での展示や講演会に関して学芸員さんや他の市民活動団体と楽しく環境のことを考えながら活動をしています。



右図および右写真は、  
すいた市民環境会議 提供



## 「旬は命」モットーに、点訳活動突進中！



点訳の会「円 (まどか)」  
代表 北嶋 玉枝

吹田市地域福祉計画では、地域福祉委員会活動、民生・児童委員会活動、ボランティア・NPO活動を称して「地域福祉活動」とすると載っています。そういった諸団体が、協働で障がいのある方を地域で受け入れ、バリアフリー活動をしてこそ、地域住民の暮らしを支えていくことができると思います。

ボランティア連絡会が、ボランティアセンターと連動した活動の一例に、小学生への点字教育があります。児童が点字機を使って書いた点字を、目の不自由な講師に触読してもらって、指で読むのを目の当たりにした児童の感動は大きく、いつまでも心に残っていると思います。ある時、一人の児童が目の不自由な講師に質問しました。「目が見えなくなって得したこと、あるか？」講師は「そうやね。電気点けなくて真っ暗でも本は読めるし、ごはん食べれるし、トイレも行けるんや」

「ふーん、なんや、電気代要らんのか。得やな」爆笑しましたが、目が不自由であったり、どこかが不自由であっても、自分たちと何ら変わりのないことを、ここで学んでいます。

私は現在点訳の会「円 (まどか)」で視覚障がい者の方々へのニーズに応じた点字情報の提供。点訳・墨訳並びに諸団体主催の行事、福祉活動や行事への参画、支援をしています。



## 吹田市内での食育活動



吹田地区栄養士会  
さんくらぶ  
捧 園子

私は栄養士の集まりである「吹田地区栄養士会さんくらぶ」に所属しています。

今年で「さんくらぶ」は創立25年を迎えます。その間コツコツと地道に活動してきましたが、その活動の仕方が変わることはありません。活動するなかで、関わる事ができた団体との輪が広がって年間約40～50件の事業を実施しています。

講座などの依頼を受けて出向きますが、相手の要望に答えながら、私達の目的とする「食育」をどう盛り込むか試案しながら臨みます。

私達が伝えたいその目的とは、からだが必要としている食事のバランスや食べ方、仕事などでその実現が難しいときの工夫など、相手が幼児からお年寄りまでいろいろな年代に応じての内容になりますので多岐にわたります。

「ちゃんと食えること」ができれば、心身ともに健康でいられるはずです。吹田市民のみんなが健康で過ごすこと



ができることを願って活動しています。その中でも「学童・青年層の食育」の大切さを痛感し、自発的な活動を模索しています。しかし、思ったところに手が届かないもどかしさを感じたりします。たとえば、公民館の使用条件などのハードルの高さなどです。もう少し違う形があってもよいのではないかと感じます。その解決には、「私達の活動を知ってもらおう」ことから始めなければならないと思っています。

このCNSの活動の場が、「私達の活動を知ってもらえる場になればいいな～」と思います。行政と市民公益活動団体にとどまらず、企業などとも連携する、垣根を越えた輪がどんどん広がって行くことを願っています。

## 若者が育ち輝く、吹田のまちに！



かえっこバザール実行委員会  
ボランティア  
山中 久司

こんにちは！もうすぐ社会人3年目の山中と申します。生まれは大阪府枚方市ですが、関西大学文学部に入学後「吹田まつり学生部会」という、お祭りの企画運営をする学生ボランティア団体から吹田市との縁が始まりました。

カミナリオヤジや、ユーモアお母さん、熱くて真っ直ぐな市の職員さんとの交流や社会参加を通じて、上下でも横でもない繋がりができ、豊かな学びの機会をいただけたことは、かけがえのない財産です。

さて、20代も少子高齢化社会を生きるゆとり教育世代と言われますが、世の中をポジティブな方向に進められる仕事に就きたい！と考える若者は年々増え続けています。今こそ新しいアプローチが求められているのではないのでしょうか？学生をはじめ20～30代の荒削りな感性と発想を励ます、種を蒔く、生かす、つなげる、そんな役割をCNSに期待しています。

また、次への行動に私も素人ながら関わっていきます。ぜひとも先人の知恵を今に生かしていただき、お手本にさせてください。そして、世界中から集まった学生が吹田の大学・吹田の街で学び、まちづくり仲間になる仕組みができたらとっても素敵ですね！このニュースをご覧になられている人生の先輩方が“イマドキのワカモノ（笑）”を褒め言葉として使う日も近いかもしれませんね。

私は、枚方は生みの親、吹田は育ての親だと思



っています。そんな吹田育ちの吹田っ子がもっともっと増え、いつまでも輝き続けますように。

※「会員紹介」欄は、今後も掲載の予定です。

## NPO 法人 市民ネットすいた 第2回定期総会開催のご案内

NPO 法人市民ネットすいた第2回総会開催日程が決まりましたのでお知らせします。

会員のみなさまには、改めて、詳細決まり次第ご案内致しますが、是非ご予約の上ご参加くださるようお願いいたします。

あわせて、入会の受付もしていますので、広く市民のみなさまの入会参加も歓迎いたします。

記

1. 日 時 2013年5月19日(日)  
午後2時～
2. 会 場 市民公益活動センター会議室

### NPO 法人市民ネットすいたパワーアップに向けて

市民公益活動センターがオープンして6ヶ月、運営事業の課題や改善点はまだまだありますが、ほぼ計画どおりに体制を整えつつあります。

今後は、さらに吹田市全域の市民、並びに市民公益活動団体、そして多様化していく社会的ニーズに答えられるように、「市民ネットすいた」の会員増強や会員相互の交流を深める方策の検討を進め、その中から中間支援組織としての課題の抽出や解決策の具体化を図りたいと考えています。

日頃お気づきのこと、助言・ご提言など、広く市民、市民公益活動団体、企業・商店、大学・研究機関、行政関係等、皆様の積極的なご参加、ご理解とご協力をお願いします。



**編集後記** ・三寒四温、梅花の便り、春の足音が身近に聴こえてきます。・「ラコルタ」と愛称も決まった市民公益活動センター、利用者も月ごとに増えています。・内実ともに開かれたNPOを目指すとともに個人情報保護にも細心の注意を払っています。・新設「会員紹介」欄の皆様の活動振りや意気込み、次号も是非、会員皆様のご協力をお願いします。・日常活動の中での理事会、月毎の行事計画進捗確認に加えて、決算や次年度計画 真最中です。

## 吹田市立市民公益活動センターの愛称

### 『ラコルタ』に決定！

昨年11月、吹田市が市民公益活動センターの愛称を募集し、市民の皆様から、たくさんのご応募をいただきました。2月15日厳正開票の結果、愛称は最高得票の「ラコルタ」に決定しました。La colta は、イタリア語で”収穫”という意味です。これから、私たち市民は、名実共に実り多いセンター「ラコルタ」を合言葉に集まり歓談し、市内一円に成果を結実させて行きましょう。

### 市民公益活動センター『ラコルタ』3月度行事案内

#### ★ 3月9日(土)13:30～15:00

市民公益活動入門講座特別編

～やってみよう！ボランティア活動～

#### ★ 3月16日(土)13:30～15:00

国際交流団体交流会

#### ★ 3月23日(土)13:00～16:00

かえっこバザール

#### ★ 3月26日(火)13:30～15:00

市民公益活動センター利用者懇談会

利用者団体公募(1団体2名まで)、要申込。

#### ★ 3月28日(木)10:00～12:00

市民公益活動入門講座

自分にあったボランティア活動を見つけませんか

#### ★ 3月28日(木)13:30～16:30

市民公益活動に活かせる補助金・助成金講座

講師：白井恭子さん

(社会福祉法人大阪ボランティア協会)

(注)上記各行事はすべて「ラコルタ」で開催します。

詳細は「市民公益活動センターニュース」Vol.2、または、「ラコルタ」職員にお問合せください。

■ その他、ご質問・ご相談については、常時窓口で受け付けていますので、何なりとお問合せください。

## CNSuita ニュース

NPO法人 市民ネットすいた

ホームページ [市民ネットすいた](#) も検索ください

事務局 〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1  
千里ニュータウンプラザ6階

TEL 06-6875-7459

FAX 06-6875-7461

E-MAIL [mail@cnsuita.com](mailto:mail@cnsuita.com)

情報のご提供、ご意見などお寄せください。